シグマ光機株式会社

証券コード：7713

OptoSigma®

第49期　報告書

2023年6月1日 ► 2024年5月31日

Light Solutions for Life®

光なら、きっとできる。

Contents

株主の皆様へ

2024年5月期業績（連結）

2024年5月期セグメント別概況（連結）

2025年5月期業績見通し（連結）

2024年5月期海外業績の概況（連結）

Topics

- シグマ光機の中長期経営方針の骨子
- 新製品紹介　自動外観検査装置

サステナビリティ活動

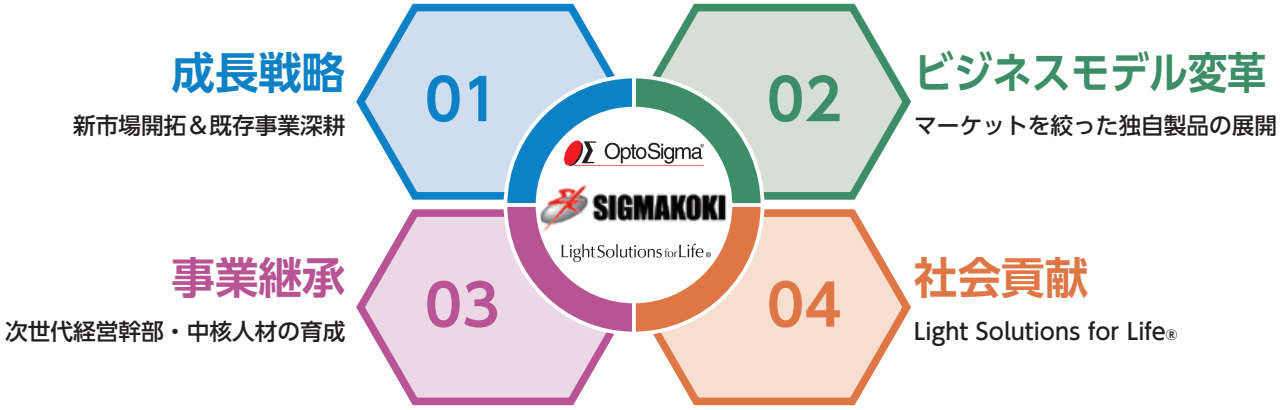
株主様アンケート結果のご報告

連結財務諸表

株式の状況／会社概要

経営理念　**我社は光産業を通じ、社会に貢献します。**

中期経営戦略の4つの柱



「感謝」「挑戦」「創出」　Light Solutions for Life®

光技術を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の連結業績は、売上高は前年同期比1.4％減の112億13百万円、営業利益は同21.7％減の11億78百万円となりました。高付加価値製品の販売及び継続的な生産性向上等に注力いたしましたが、景気回復の足踏み状態や地震災害等の特殊要因等、様々な外部環境の影響を受ける形となりました。このような環境下ではありますが、先端技術分野を中心に更なる技術革新に向けた光技術のニーズが年々増加しており、当社のビジネス機会は広がっております。当社は、持続可能な企業価値向上の視点から、安定的に高い付加価値を生み出す企業体質への「Great Reset」を目指し、「成長戦略」、「ビジネスモデル変革」、「事業継承」、「社会貢献」を4本柱とする中長期経営戦略を策定しております。今後も、当社のコア・コンピタンスを最大化する設備投資・研究開発投資・人的投資等の戦略的投資を継続し、サステナビリティ経営体制の強化、働きやすい社内環境構築及び着実な株主還元を通じて、様々なステークホルダーの皆様の信頼とご期待にお応えしてまいる所存でございます。株主の皆様におかれましては、今後とも何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

シグマ光機株式会社
代表取締役社長　近藤 洋介

景気回復が足踏みの中、海外市場の需要鈍化等により減収。

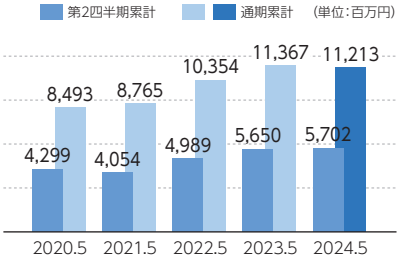
世界経済は、不透明感の強い状況が続き、景気回復に足踏みがみられました。当社においては、要素部品事業は一部半導体業界向けで在庫調整等の動きがみられ、一部の海外地域の需要も鈍化した他、地震災害による当社工場拠点の一時的な稼働停止等もあり、総じて弱含みで推移いたしました。システム製品事業は、半導体業界向け及びフラットパネルディスプレイ業界向けの一部の大口顧客の需要増加等により堅調に推移いたしました。

地震災害の他、売上高減少及び製品MIX変化等より減益。

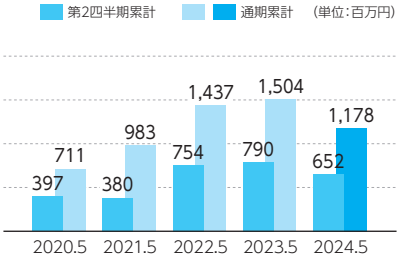
高付加価値製品の販売及び継続的な生産性向上等に注力いたしましたが、原材料・外注加工などの外部調達価格やエネルギー価格が高止まりしている中、景気の足踏み状態での売上高減少及び製品セグメント別売上構成比率が変化したこと等の他、地震災害による当社工場拠点の一時的な稼働停止による外部調達費や修繕費及び持続的な事業拡大に向けた販売促進費や旅費交通費等がそれぞれ増加したこと等により、営業利益は前年同期比で減少いたしました。

2024年5月期業績（連結）

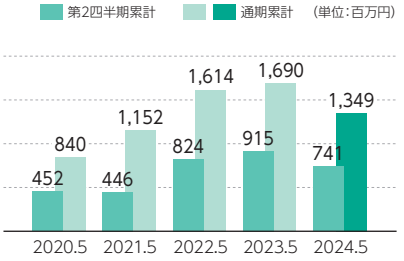
売上高 112億13百万円
（前年同期比 1.4%減）



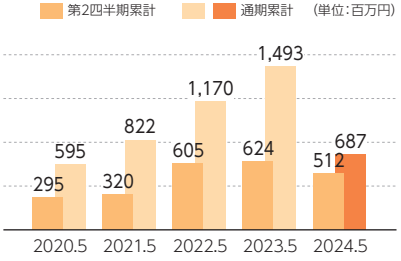
営業利益 11億78百万円
（前年同期比 21.7%減）



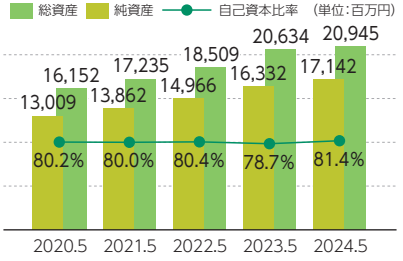
経常利益 13億49百万円
（前年同期比 20.2%減）



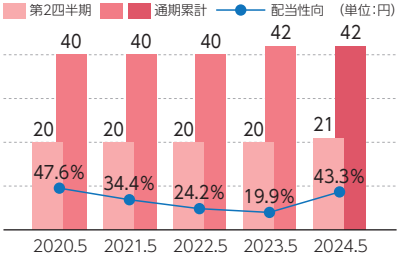
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益 6億87百万円
（前年同期比 54.0%減）



総資産・純資産・自己資本比率



配当金、配当性向

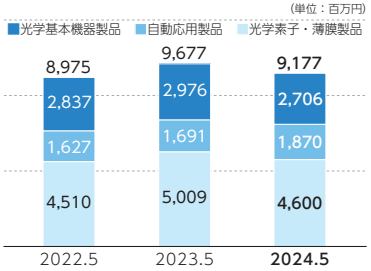


2024年5月期セグメント別概況（連結）

▶ 要素部品事業

■ 売上高

5.2% 減
（前年同期比 499百万円減）



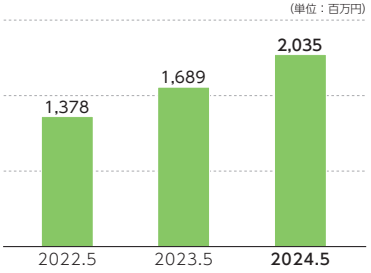
POINT 一部業界の在庫調整及び地震災害の影響等で需要減少。

一部半導体業界向けで在庫調整の動きがみられる中、光学基本機器製品は、海外地域向けの需要が減少した他、当社工場拠点の地震災害による一時的な稼働停止等の影響が加わって軟調に推移しましたが、自動応用製品は、部材の供給制約の解消が続き、好調に推移いたしました。光学素子・薄膜製品は、国内を中心とした一部の電子部品・半導体業界向けの大口顧客は堅調に推移したものの、総じて弱含みで推移いたしました。

▶ システム製品事業

■ 売上高

20.4% 増
（前年同期比 345百万円増）



POINT 半導体向け好調。FPD向け一部顧客も堅調。

電子部品・半導体業界向けでは、製造装置・検査装置への組込み用途の光学ユニット製品及び光学システム製品が好調に推移し、フラットパネルディスプレイ業界向けでは、一部の顧客向けの製造装置・検査装置への組込み用途の光学ユニット製品が堅調に推移いたしました。また、防衛業界向けの光学システム製品は堅調に推移し、医療業界向けの光学システム製品は微増で推移いたしました。

2025年5月期業績見通し（連結）

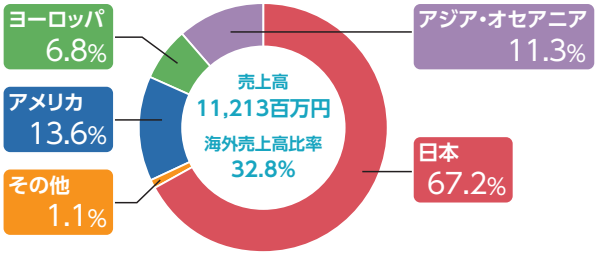
世界経済の先行きは不透明ですが、先端技術分野を中心に、当社への需要は堅調な増加を見込んでおります。当社は、特注製品・OEM製品の提案型営業の強化、オンライン販促の推進、産学官連携及び専門企業との協業等による製品ラインナップ拡充の他、海外案件の創出とグローバルブランド認知度向上を推進し、収益拡大を図ってまいります。また、継続的な生産性向上及びコスト削減とともに、地震被害を受けた建物等の復旧、設備投資、研究開発投資、人材投資等を進めてまいります。そのような環境の下、第50期年間配当金は42円（予定）とし、安定的な株主還元を行ってまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当額
11,820百万円	1,160百万円	1,400百万円	900百万円	42円（※通期累計額）
（前年同期比5.4%増）	（前年同期比1.4%減）	（前年同期比4.0%増）	（前年同期比31.4%増）	配当性向 33.1%

2024年5月期海外業績の概況（連結）

●顧客所在地別概況

■海外売上高構成比



■顧客所在地別売上高・営業概況

日本	7,537 百万円	当社工場拠点の被災による一時的な稼働停止の影響等もあり、光学要素部品が弱含みで推移。光学システム製品は一部の半導体業界向け等が好調。
アメリカ	1,519 百万円	米国製造業の足踏み状態が続く中、一部の産業分野向けで在庫調整の動きがみられ、総じて軟調に推移。新規OEM獲得及びブランド認知度向上に注力。
ヨーロッパ	759 百万円	欧州経済は弱含みで推移するも、産業分野向けの大口案件を獲得し、堅調に推移。ドイツ孫会社も設立し、事業展開を強化。ブランド認知度向上に注力。
アジア・オセアニア	1,272 百万円	中国経済を中心に減速基調で推移する中、期後半に一部顧客向けの需要が回復してくるも、総じて弱含みで推移。市場多様化及び安定供給を継続。

グループ会社概況

OptoSigma

製造業の低迷と顧客の過剰在庫により、2024年3月期は厳しい年となりました。そのような中、OEMの獲得に注力し、潜在顧客の開拓、既存顧客の深耕を継続した結果、売上高は12.5百万$（前期比18%減）でしたが、純利益は予算を上回りました。2025年度はOEM中心の特注対応を継続することで、収益も回復すると見込んでおります。また、引き続き販促施策「Project Avatar」でブランド認知度を向上してまいります。新社屋には夏に入居する予定です。

OptoSigma Europe

2024年3月期は、欧州の景気は不安定だったものの、大口受注を獲得し、対前期比で売上高は2%増、受注残は13%増となりました。Webからの受注も20%増加し、全体の15%となりました。今後もWeb投資を継続してまいります。また、欧州での事業展開を強化するため、1月にドイツに子会社を設立し、2025年度から営業を開始いたします。子会社はミュンヘンの主要展示会に参加し、「OptoSigma®」ブランドをアピールしてまいります。

上海西格玛光机有限公司

世界経済及び中国経済の減速から2024年3月期は売上高が前期比31.5%減の30.43百万元となりました。2025年度は光学基本機器製品及び光学素子・薄膜製品の生産品目を拡充させるとともに、シグマ光機グループの生産拠点の一員として、BCP対応を含め、高品質・高性能製品の安定供給に取り組んでまいります。

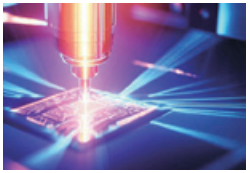
OptoSigma SIGMAKOKI Group

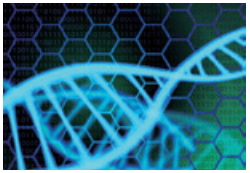
2024年3月期は、世界経済及び半導体業界の減速の影響を受け、産業向けの需要が減少いたしましたが、下期からシグマ光機の高付加価値製品（ファイバー調芯システム、ナノステージなど）とタイアップ製品（光源、光学テーブル、量子関連など）の売上が拡大いたしました。その結果、売上高は2.16百万SG$（前期比44.7%増）と予算をほぼ達成いたしました。2025年度は、2.45百万SG$を目指してまいります。

持続的な成長に向けた「Great Reset」を推進しています。

シグマ光機は「光産業を通じ、社会に貢献します。」という使命の下、光技術を通じた社会課題解決に取り組んでいます。長期的な視点に基づく戦略思考の実践と結果にコミットする企業風土に変革・実践させる「Great Reset」に向けて、「成長戦略」、「ビジネスモデル変革」、「事業継承・中核人材育成」、「社会貢献」の4つの重点戦略を強力に推進しています。

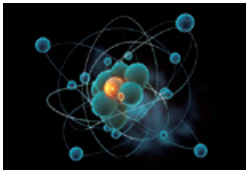
環境認識：様々な産業から光技術ニーズが拡大しています。


微細加工＆精密検査


微小分子観察&バイタル測定

低遅延&大容量通信

宇宙観察&精密測定


量子力学的性質の制御など

重点戦略：持続的な成長に向けた価値創造とESG経営

■主要KPI	2024年5月期実績	2025年5月期予算	2027年5月期（3年後）目標
売上高（連結）	11,213百万円	11,820百万円	毎年 2～5% 成長
営業利益率（連結）	10.5%	9.8%	15% 以上
ROE（連結）	※4.1%	5.3%	8% 以上

※地震災害による特別損失を計上。

成長戦略

- 新市場開拓（積極的なチャレンジ案件対応）
- 既存市場深耕（アプリケーション提案）
- 生産性向上＆業務効率化

ビジネスモデル変革

- 特定マーケット向けオリジナル製品開発
- 専門企業とのコラボレーション企画・開発
- 高付加価値化を実現する仕組みづくり

事業継承・中核人材育成

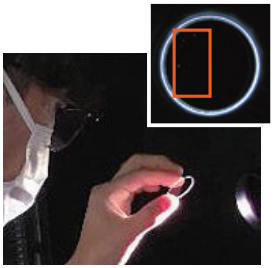
- 経営幹部育成
- 海外グループ会社の経営体制強化
- ガバナンス体制の強化
- 当社オリジナル人材教育研修の拡充

社会貢献

- 国内外での教育分野支援
- 医療・介護・福祉分野の支援
- 創エネルギー＆蓄エネルギー推進
- ダイバーシティの推進

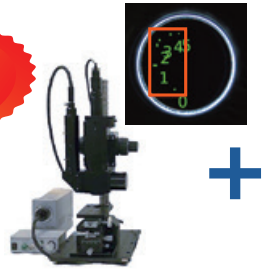
光学部品の表面検査を目視検査からAIを活用した自動検査へ。

最先端の研究開発用途及び産業用途で活用される光学部品は、その超高精度の品質管理のため、検査工程が大変重要です。一方で、ガラスや結晶材等でできている透明な光学部品は、表面にある傷の確認及び表面に付いたゴミとの区別等が難しく、表面検査工程の多くが人手による目視検査で行われています。シグマ光機は、長年の検査工程のノウハウ及び蓄積してきた光学観察技術やシステム化技術等とともに、専門企業とのコラボレーションを通じて、検査工程の自動化に取り組んでいます。



目視検査の様子と
製品の欠陥例（赤い四角）

独自技術で
開発中

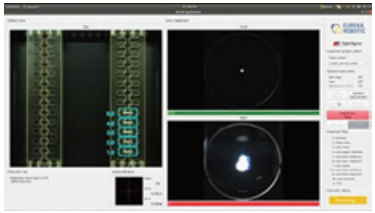


光学観察システム
（手動）

＋

専門企業とコラボレーション

ロボティクス
（自動）



AI検査（機械学習）

自動検査のメリット

現在（目視検査）		自動欠陥検査
官能検査（品質不安定性）	➡	定量検査（品質の見える化）
熟練者の検査技術が必要	➡	標準化（分析＆効率化へ）
人手による作業時間の制限	➡	24時間稼働（自動化）

量産品の品質安定及び省力化、トレーサビリティ（履歴管理）の向上を目指しています！

担当者コメント：技術部 森田さん

当社では、従来は手動で画像を取得する光学観察システムに、ロボティクス及びAIを用いた画像解析を統合した自動外観検査装置を製作しました。これにより、光学部品の表面検査における検査員の負荷低減及び検査品質の均一化が可能になり、生産性と品質管理の向上に大いに貢献します。
本装置は、検査対象の形状に合わせてトレイやハンド部を交換し、ロボットにトレイの座標を設定することで、柔軟で効率的な検査が可能になります。また、AIによる学習で蓄積されたモデルデータを使用して定量的な検査を実現できます。
加えて、今後は製造現場からのフィードバックを受けることで、更なる機能の向上が期待できます。

自動外観検査装置

女性活躍推進法に基づく行動計画進捗のご報告

当社は、全ての従業員が仕事と家庭を両立しながら活躍できる職場環境の整備を目指して、数値目標に対する達成状況を定期的に把握・管理しています。

計画期間：2021年4月1日～2026年3月1日（5年間）

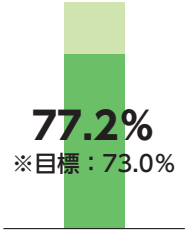
■ 製造・開発職種の女性正社員人数

※2024年5月31日時点

■ 管理職・管理職下位階層の女性従業員人数

※2024年6月1日時点

■ 年次有給取得率



※2023年度

女性活躍推進に関する情報はこちらもご高覧ください。
https://www.sigma-koki.com/sustainability/social/employee/

働く女性サミット

当社は、ライフイベントの影響を受けやすい女性人材のキャリア形成支援及び社員協力体制構築、ワーク・ライフ・バランスの充実化等、女性を含む全ての従業員が自分らしく働き続ける職場環境の整備を目指して、女性活躍プログラム「働く女性サミット」を実施しています。

次世代の光科学分野の人材育成に貢献

東京大学を中心として発足した大学院教育プログラム「CORAL」に、発足当初から参加しており、次世代の人材育成に貢献しています。

CORAL（先端レーザー科学教育研究コンソシアム）

「内部統制システムの構築に関する基本方針」を見直しました。

当社は、事業活動における社内業務の適正を確保するために、内部統制システムを構築しています。7/11（木）に開催した取締役会では、「内部統制システムの構築に関する基本方針」を一部改訂することを決議しました。これからも、外部環境と内部環境の変化等に応じた内部統制システムの評価及び見直しを行い、実効性のある内部統制システムの整備・運用に努めていきます。

主な変更点

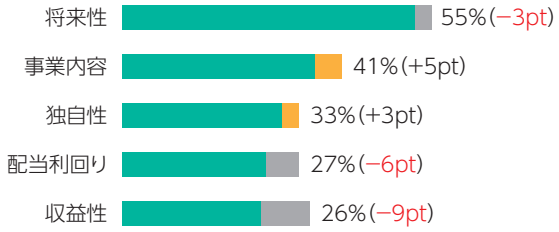
- 内部統制に係る各種会議体の整理と役割の明確化
- 各会議体の役割と目的に合わせた名称変更

※詳細はこちらもご高覧ください。
https://www.sigma-koki.com/asset/data/240711_p.pdf

株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

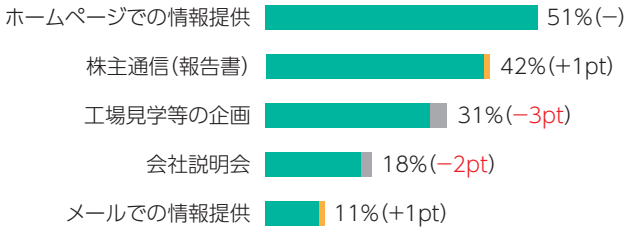
第49期中間報告書で実施したアンケートは、当社の全株主様5,723名（2023年11月30日時点）の約3%を超える196名の株主様からご回答いただきました。
皆様よりお寄せいただいたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かしてまいります。

●当社株式を購入された理由



※括弧内は、対第48期中間比

●充実を期待するIR活動



※括弧内は、対第48期中間比

株主様からのご意見

Q 利益率向上策について教えてください。

A 高精細化・高精密化・高耐久化等、様々な産業で光技術のニーズが拡大しております。そのような中、産学官連携への参画や、業界専門企業との協業等を通じて、成長市場に対する付加価値が高い独自製品の提供を強化しております。また、継続的な生産性向上及び全社的なコスト削減の他、高精度な設備の導入、研究開発投資、人材採用及び育成、働きやすい社内環境構築等を推進し、付加価値の最大化に努めております。

Q 働く人が力をますます発揮できる場にしてほしい。

A シグマ光機は、「人材」こそ、全ての価値創出の源泉であると考えており、全ての従業員がやりがいを持って働き続けることを目指しております。2024年5月期には、外部環境認識及び中長期ビジョンに基づき、より従業員の成果や能力が適正に評価されるよう、人事制度を大幅に見直しました。人材の活躍に関わる各種制度の導入や見直し等を推進し、引き続き社内環境改善に取り組んでまいります。

株主様からのご意見・ご要望のご紹介

- 半導体周辺の日本企業発展に寄与できることを期待しています。
- 固有の技術と製品で、世の中に必須な会社であってほしいです。
- 増配、株式の消却、分割等、戦略的な動きに期待します。
- アンケートから認識した主要課題を明確に述べていただきたいです。

連結財務諸表

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	当　期 2024年5月31日現在	前　期 2023年5月31日現在
（資産の部）		
流動資産	12,534	13,251
固定資産	8,410	7,382
有形固定資産	4,755	3,880
無形固定資産	62	79
投資その他の資産	3,592	3,422
資産合計	20,945	20,634
（負債の部）		
流動負債	2,769	3,042
固定負債	1,033	1,259
負債合計	3,802	4,301
（純資産の部）		
株主資本	15,807	15,424
その他の包括利益累計額	1,240	817
非支配株主持分	94	90
純資産合計	17,142	16,332
負債・純資産合計	20,945	20,634

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	当　期 2023年6月 1日から 2024年5月31日まで	前　期 2022年6月 1日から 2023年5月31日まで
売上高	11,213	11,367
売上原価	6,928	6,926
売上総利益	4,284	4,440
販売費及び一般管理費	3,106	2,936
営業利益	1,178	1,504
経常利益	1,349	1,690
親会社株主に帰属する当期純利益	687	1,493

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	当　期 2023年6月 1日から 2024年5月31日まで	前　期 2022年6月 1日から 2023年5月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,410	982
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,458	182
財務活動による キャッシュ・フロー	△618	△112
現金及び現金同等物に 係る換算差額	239	142
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△426	1,195
現金及び現金同等物の 期首残高	4,330	3,135
現金及び現金同等物の 期末残高	3,904	4,330

解説ポイント

●連結貸借対照表

＜資産の変動＞

流動資産は、有価証券が増加しましたが、現金及び預金、商品及び製品、売掛金がそれぞれ減少したこと等により前期末比で5.4％減少しました。固定資産は、繰延税金資産が減少しましたが、建物及び構築物、米国子会社の建設仮勘定、当社及び連結子会社の投資有価証券等がそれぞれ増加し、前期末比で13.9％増加しました。この結果、総資産は、前期末比で1.5％増加しました。

＜負債の変動＞

流動負債は、令和6年能登半島地震により発生した被害に係る災害損失引当金が増加しましたが、未払法人税等、電子記録債務がそれぞれ減少したこと等により、前期末比で9.0％減少しました。固定負債は、長期借入金、支払期日までの期間が1年を超えるリース債務がそれぞれ減少したこと等により、前期末比で17.9％減少しました。この結果、負債合計は、前期末比で11.6％減少しました。

＜純資産の変動＞

純資産は、前期末比で5.0％増加し、自己資本比率は、81.4％となりました。

●連結キャッシュ・フロー計算書

当期の現金及び現金同等物は、前期末比で4億2千6百万円の減少となりました。

営業CFは、法人税等の支払などの支出による減少はあったものの、税金等調整前当期純利益、資金流出を伴わない減価償却費の計上、棚卸資産の減少、災害損失引当金の計上、売上債権の減少でそれぞれ増加したこと等により資金を14億1千万円獲得しました。

投資CFは、有形・無形固定資産の取得による支出、投資有価証券の取得による支出などでそれぞれ減少したこと等により資金を14億5千8百万円使用しました。

財務CFは、長期借入金の借入の収入による増加があったものの、配当金の支払額、長期借入金の返済による支出などでそれぞれ減少したこと等により資金を6億1千8百万円使用しました。

詳細な情報はこちらをご高覧ください。https://www.sigma-koki.com/ir/document/

株式の状況（2024年5月31日現在）

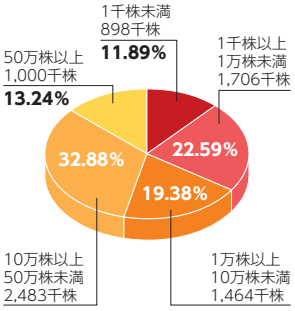
発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式総数	7,552,628株
株主数	5,683名 （前期末比280名増）

主要株主

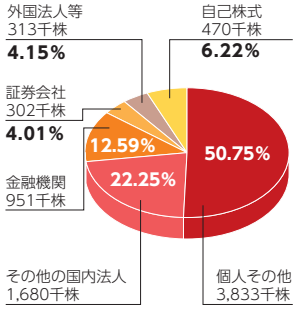
株　主　名	所有株数（千株）	持株比率（%）
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.11
シグマ光機取引先持株会	466	6.58
株式会社ツシマ	215	3.04
シグマ光機従業員持株会	209	2.95
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.86
富国生命保険相互会社	200	2.82
株式会社サンライズクリエート	148	2.09
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	127	1.79
光通信株式会社	123	1.74
杉山大樹	110	1.56

（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
3. 持株比率は、自己株式（470,450株）を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位を切り捨てて表示しております。
3. 自己株式（470,450株）を含んでおります。

会社概要（2024年8月28日現在）

社　名	シグマ光機株式会社
本　社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設　立	1977年（昭和52年）4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	371名（2024年5月31日現在）
役　員	代表取締役社長　近藤洋介 取締役　石井康之 取締役　多幡能徳 取締役（社外）　小澤勉 取締役（社外）　野﨑誠 取締役（社外）　松尾祐美子 取締役（社外）　セットジイヨン 常勤監査役（社外）　上野健司 監査役（社外）　南雲幸一 監査役（社外）　熊﨑美杉

（注）社外取締役　野﨑誠氏、松尾祐美子氏及びセットジイヨン氏、社外監査役　上野健司氏及び熊﨑美杉氏の5氏は独立役員であります。

主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.
- 上海西格瑪光机有限公司
- LMS株式会社
- タックコート株式会社

当社の報告書は、「UDフォント」を採用しております

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン（UD）書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。

文字使用例
（従来）S36 ▶ （UDフォント）S36

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会　毎年5月31日 期末配当金　毎年5月31日 中間配当を行う場合は、毎年11月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告URL	https://www.sigma-koki.com/

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

（電話照会先）フリーダイヤル 0120-782-031（通話料無料）
（インターネット ホームページURL）
https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます）を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご留意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

（特別口座　口座管理機関）	みずほ信託銀行株式会社
（郵便物送付先）	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-288-324（通話料無料）

株主の皆様の声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

https://koekiku.jp

アクセスキー　7713RwiD

スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

シグマ光機株式会社
東京本社　東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221（総務部）

UD FONT

FSC www.fsc.org ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK